

## 第9回ダムによらない治水を検討する場 説明資料

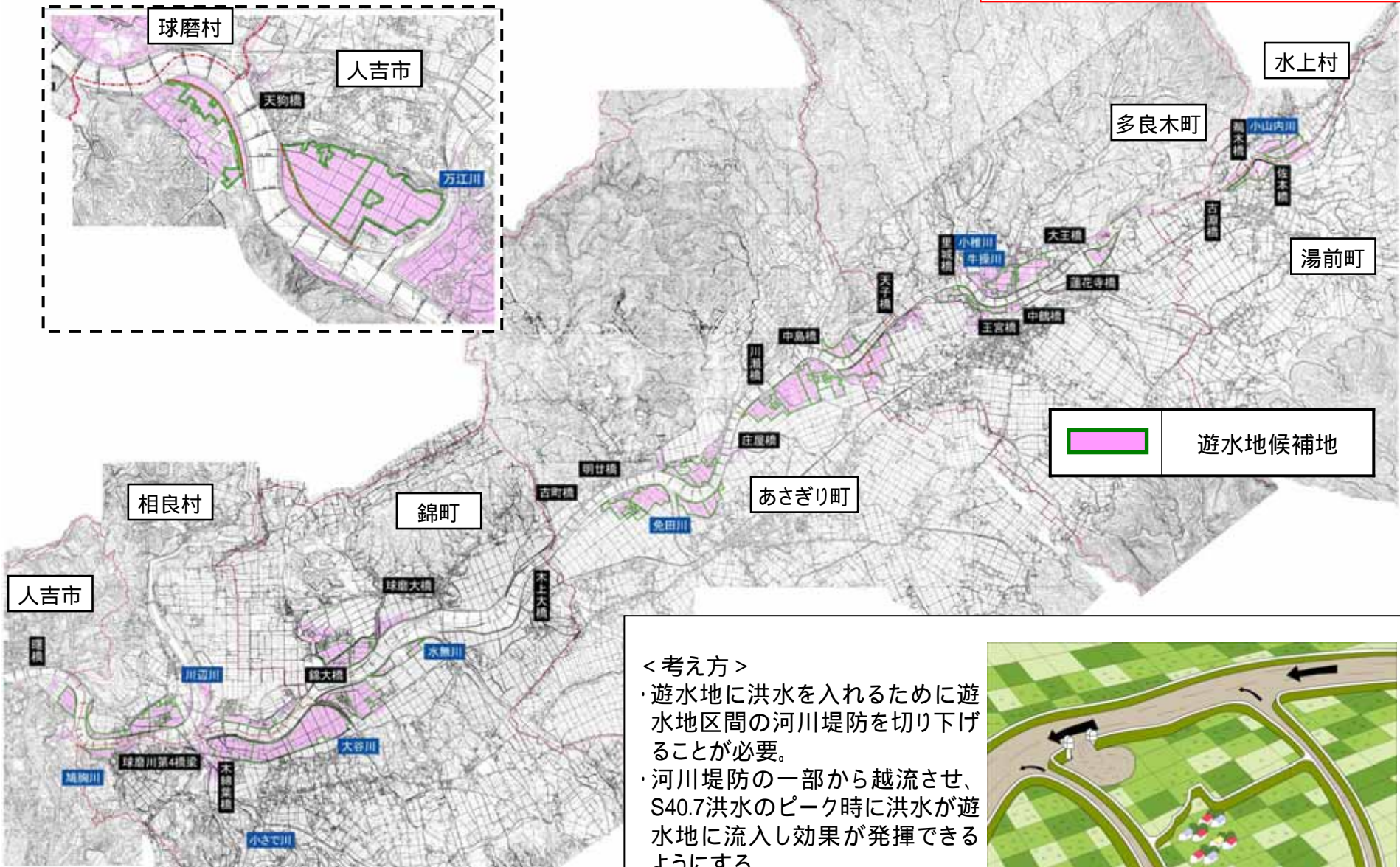
(遊水地を検討するに当たっての考え方について)

平成23年9月5日

国土交通省 九州地方整備局

現況でのS40.7洪水シミュレーションの計算水位より地盤が低い農地

治水対策案を実施すると仮定した場合の対象箇所であり、実際の事業計画ではありません。



- < 考え方 >
- ・遊水地に洪水を入れるために遊水地区間の河川堤防を切り下げることが必要。
  - ・河川堤防の一部から越流させ、S40.7洪水のピーク時に洪水が遊水地に流入し効果が発揮できるようにする。



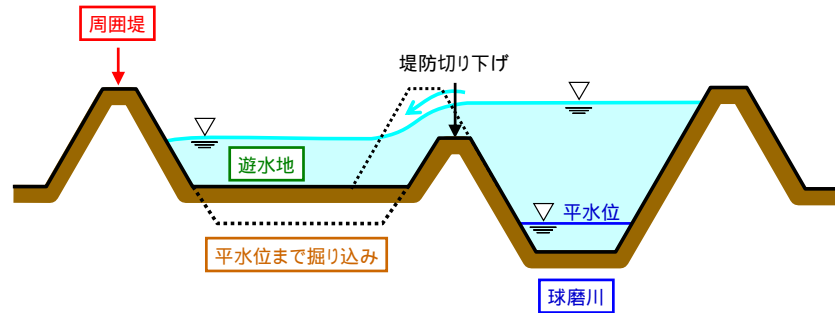
遊水地利用イメージ図

平面図は、第4回ダムによらない治水を検討する場会議資料P18より抜粋

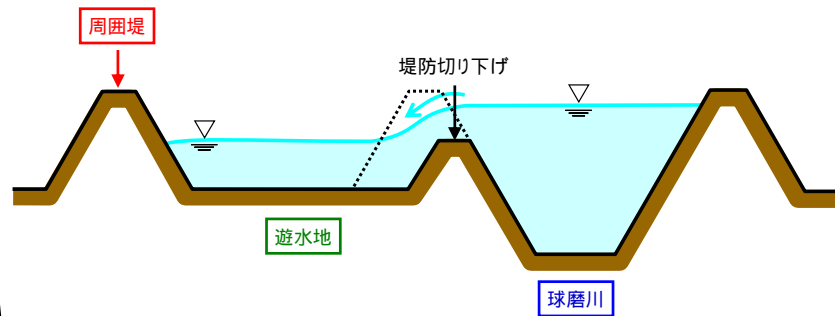
遊水地の地盤高について

遊水地の地盤高については以下のような活用ケースが考えられます。

<例1>  
地盤高を現在の高さから掘り込んで活用する。



<例2>  
地盤高を現在の高さのまま活用する。



関係機関との調整が必要になります。

遊水地の対象箇所について

遊水地の対象箇所については以下のような活用ケースが考えられます。

<例1>  
S40.7洪水シミュレーションにおける計算水位より地盤が低い箇所のうち、全てを対象とする。  
20箇所程度が対象となります。

<例2>  
S40.7洪水シミュレーションにおける計算水位より地盤が低い箇所のうち、各市町村1箇所程度を対象とする。  
10箇所程度が対象となります。

<例3>  
S40.7洪水シミュレーションにおける計算水位より地盤が低い箇所のうち、より効果の大きい箇所を厳選し、対象とする。  
数箇所程度が対象となります。

関係機関との調整が必要になります。